

1 題材 「SNS利用のルールづくり」

活動内容 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 児童の実態と題材設定の理由

省略

3 指導のねらい

- ・児童自らSNSの利用について考え、目標を自己決定し、自ら具体的な行動をとることにより、家族と話し合いながら、親子で安全なSNS利用のルールについて考える契機とする。

4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的学習の仕方などについて理解している。

5 本時のねらい

- ・SNSの利用について、話し合いや資料から使い方を知り、安全に利用するためのルールを自己決定させる。

6 本時の展開

段階	学習活動	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿	教材・資料
導入 5分	1 ○○小のスマートフォン使用についての現状を知る。	・○○小学校5・6年生対象にとったアンケートの結果を伝える。スマートフォンの所持率、SNSの使用率、トラブルについて伝える。	・アンケート結果
展開 35分	2 SNSの機能を知る。 課題：SNSを安全に利用するためのルールを考えよう。 3 SNSの便利な点と危険な点について発表する 4 文部科学省「ちょっと待って！スマホ時代のキミたちへ」、鶴ヶ島市「親子で考えたSNS活用のルールづくり」リーフレットを知る。 5 話し合いや資料をもとに、SNSを安全に使うために、絶対に守りたい自分のルールとその理由を考え、意見交換をする。	・細かいことは伝えず、簡単に広く伝える。 ・発表により、自分では考えつかなかった便利な点、危険な点に気付かせる。 ・文部科学省「ちょっと待って！スマホ時代のキミたちへ」をもとに具体的な内容を伝える。 ・「親子で考えたSNS活用のルールづくり」リーフレットをもとに、つるごんからの5つの約束を伝える。 ・ルールを自己決定させ、自ら具体的な行動をとることができるようにする。 ・友達の見解を聞いて、修正してもよいことを伝える。 ・悩んでいる児童には実社会でも同様にできることを考えてみようと声かけする。 ◎安全に利用するためのルールを自己決定することができる。	・「ちょっと待って！スマホ時代のキミたちへ」 ・「親子で考えたSNS活用のルールづくり」 ・ワークシート
終末 5分	6 本時を振り返り、まとめの感想を書く。本時の価値に迫る。	・今日考えたことや思ったことについて感想を書くように伝える。 ・帰宅後、今日使った資料をもとにして、SNS活用の具体的なルールを家族とも話し合うことを伝える。	・ワークシート

SNS利用のルール作り

年 組 番

名前 ()

- (1) SNSを安全に利用するために、絶対に守りたい自分のルールを決め
ましょう。また、その理由も書きましょう。

ルール
理由

- (2) 今日の授業の感想を書きましょう。

--




SNS利用の ルールづくり

SNSとは・・・

SNSはSocial Networking Service (ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス)の略で、ソーシャル(社会的な)ネットワークワーキング(繋がりを提供するサービス、という意味になります)。

SNSでは特に「情報の発信・共有・拡散」といった機能に重きを置いているのが特徴です。

代表的なSNS

1. Twitter (ツイッター) 
2. Facebook (フェイスブック) 
3. LINE (ライン) 
4. Instagram (インスタグラム) 

今日の課題

SNSを**安全**に利用するためのルールを考えよう。

SNSの便利な点と危険な点

文部科学省 「ちょっと待って！スマホ時代のキミたちへ」

第5条 使いすぎないようにはじめをつけて スマホばかりになっていない？もっと大事なことがたくさんあるよ。



- ① 睡眠時間が減ると、集中力もなくなり、心身の不調の原因に。メッセージのやりとりは、相手のことも考えて早めに終わらせよう。
- ② 1回だけのつもりでアイテムを購入していると、いつの間にか高額に。



保護者の皆様へ

スマートフォンなどのインターネット接続機器は、今や生活する上で非常に便利なツールとなっており、次代を担う児童生徒は、インターネットの特性を理解するとともに、このような機器を上手く活用する能力が求められています。

文部科学省では、お子様のインターネット使用時や、スマートフォンを持たせる際には、携帯電話会社などが提供する「フィルタリングサービス」の設定をお願いしています。フィルタリングは、お子様にとって不適切な情報（薬物・成人動画など）へのアクセスを遮断したり、インターネット上でのトラブルを防いだりするのに役立ちます。また、サイトやアプリがブロックされた際に、「なぜこのサイトやアプリを使ってはいけないのか」、その理由をお子様と一緒に話し合うことで、お子様の情報活用能力の向上にも役立ちます。

本リーフレットは、トラブルが起こってしまう前に「ちょっと待って！」と子供たちが一歩立ち止まって、自ら考えさせる内容にしました。お子様の安全を第一に、御家族でインターネットやスマートフォンなどの使い方を話し合ってくださいと思っています。

もしトラブルに巻き込まれたら…相談窓口

- いじめ問題などの相談窓口(児童生徒/保護者対象)
文部科学省 24時間子供SOSダイヤル…0120-0-78310(受付時間:24時間)
- インターネット上の誹謗、無断掲載などの相談窓口
法務局・地方検察庁 インターネット入権相談窓口…<http://www.jnken.go.jp>
子どもの人権110番(全国共通)…
フリーダイヤル 0120-007-110 子どもの人権 SOS-eメール…
(受付時間:平日午前8時30分～午後5時15分) https://www.jnken.go.jp/soudan/PC_CH/0101.html
- 生活の安全や不安に関する相談窓口(児童生徒/保護者対象)
最寄りの警察署または警察相談専用電話…#9110
都道府県警察の少年相談窓口…<http://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/soudan.html>
チャイルドライン 18歳以下の青少年対象の相談窓口…<http://www.childline.or.jp>
フリーダイヤル 0120-99-7777(受付時間:毎日24時間/午後4時～午後9時)
- 買い物などのお金についてのトラブル 消費者庁消費ホットライン…188

小・中学生用 2018年度

ちょっと待って! スマホ時代のキミたちへ

1日中、スマホやネットばかりになっていない?

第1条
マナーを守ろう!

第2条
人を傷つけないか
送信前に見直そう!

第3条
個人情報(写真を含む)
を載せない、送らない!

第4条
ネットで知り合った
人と直接会わない!

第5条
使いすぎないように
はじめをつけて

ちょっと待って! の5か条!

考えよう 家族みんなで
スマホのルール
文部科学省ホームページ
情報モラル教育の充実!

文部科学省



スマホ時代のキミたちへ

1日中、スマホやネットばかりになっていない?



ちょっと待って! の5か条

第1条

マナーを守ろう!

第2条

人を傷つけないか
送信前に見直そう!

第3条

個人情報(写真を含む)を
載せない、送らない!

第4条

ネットで知り合った人と
直接会わない!

第5条

使いすぎないように
はじめをつけて

第1条

まも マナーを守ろう!

じぶんかって 自分勝手になってない? まわりをき気づかって賢く使おう!



① ながらスマホは交通
事故の原因になるよ。



② 駅のホームからの転
落で死亡事故も…。



③ 電車やバスなど車内
での通話は、迷惑&
トラブルの原因に。



④ 勝手に人物を撮影す
ると人の権利を
侵害すること
になるよ。

わっつと

毎日新聞2018年10月14日

スマートフォンを操作しながら自転車を運転し、歩行者の高齢女性にぶつかった事故の判決が出た。



人を傷つけないか送信前に見直そう!

何気なく送った言葉や写真で他人を傷つけてしまうかも。



① 友達の悪口や人を傷つける書き込みをしていないか、見直そう。

※自分の名前を書かなくても、誰が書いたか特定されることがあるよ。



② いたずらや悪ふざけの様子を写真に撮って投稿すると、大きな問題になることもあるよ。



③ 無断で自分の好きなアニメやマンガなどのキャラクターを投稿すると著作権という権利を侵害することがあるよ。

- SNSが合
- ネット

ラインでのやりとり



これ買ったんだよ



これ、かわいくない



このあと
トラブルに
なりました。

だい第 3 じょう条

個人情報(写真を含む)を載せない、送らない!

個人が特定されて被害にあう人も。送信したら消せないことを知っておこう。



① よく知らない人に自分や友達の連絡先を教えると、悪用されることも。



② 下着姿や裸の写真を撮ると、悪用されてネットで広まったり児童ポルノ禁止法などの罪に問われたりする可能性があるよ。



③ 名札・制服、背景などで個人が分かっただけで個人が分かってしまわないか、十分に注意しよう。



④ 不要な個人情報を登録しないように気を付けよう。

およつと

この写真からわかってしまうことは？

だい第 4 じょう条

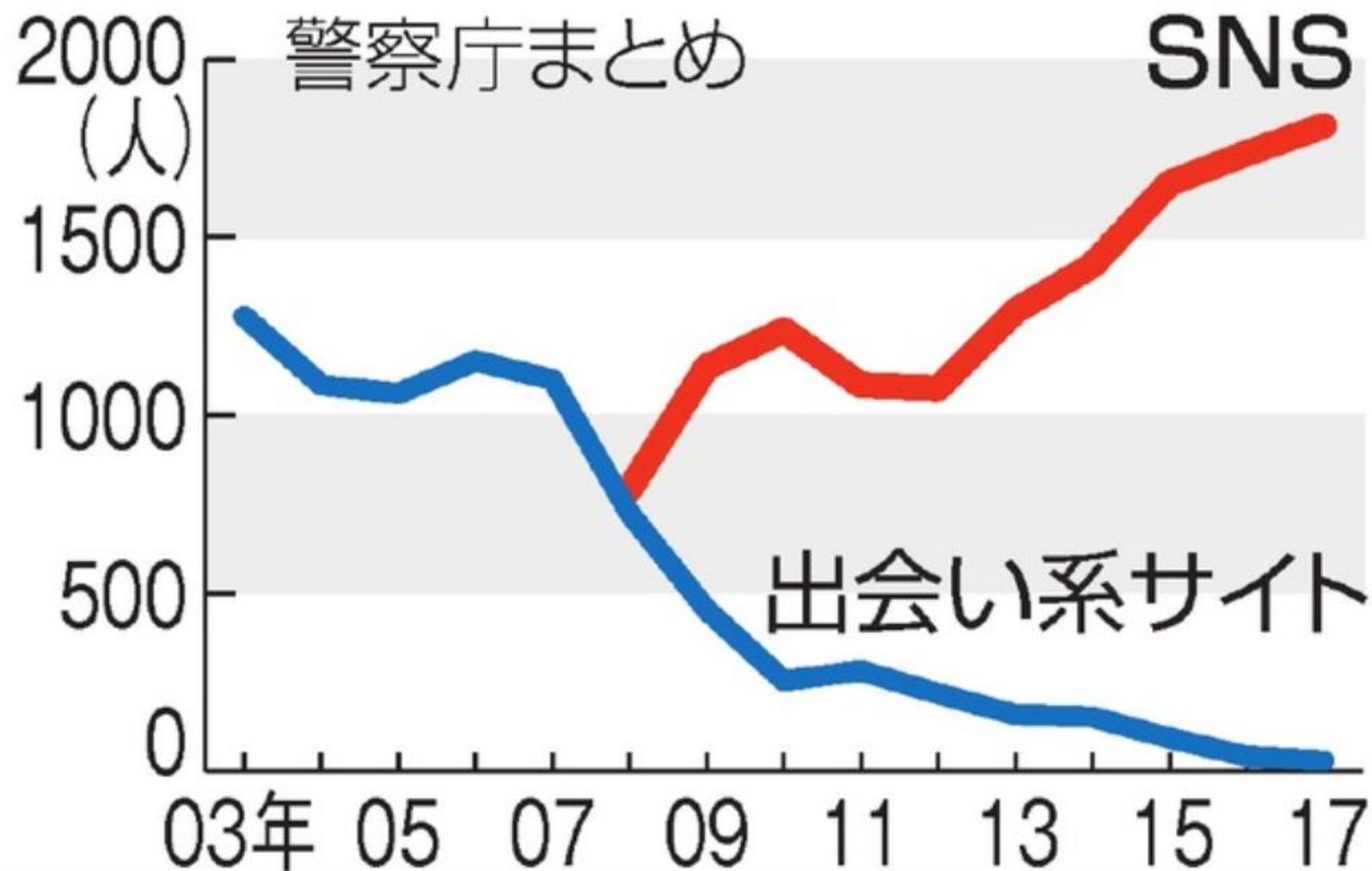
ネットで知り合った人と直接会わない!

よく知らない人に誘われても、絶対に会いにいかない。



- SNSなどで出会った人とのトラブルが増えています。自分の話や悩みを聞いてくれる、同じ趣味で話が合うからといってその人を信用しすぎていない?
- ネットの他に連絡ができない知り合いは、知らない人と一緒です。ネットで知り合った人についていき、生命、身体に関わる犯罪の被害者となるなど、深刻な事件も発生しています。

SNSや出会い系サイトを通じて被害にあった子どもの数



第5

じょう
条

つか 使いすぎないようにけじめをつけて

だいじ
スマホばかりになっていない？ もっと大事なことがたくさんあるよ。



① すいみんじかん睡眠時間が減ると、しゅうちゅうりょく集中力もなくなり、しんしん心身の不調の
げんいん原因に。メッセージのやりとりは、あいて相手のことも考えて
はや早めに終わらせよう。

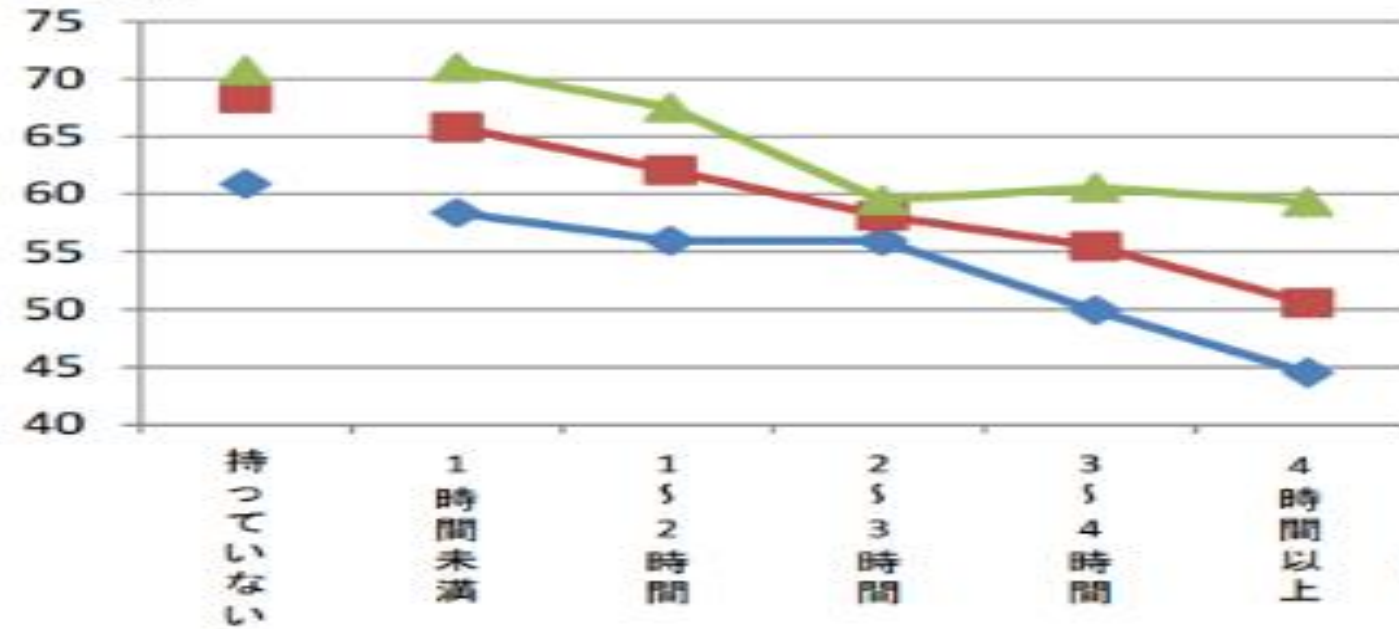


② かい1回だけのつもりで
アイテムをこうにゅう購入していると、
いつの間にかこうがく高額に。

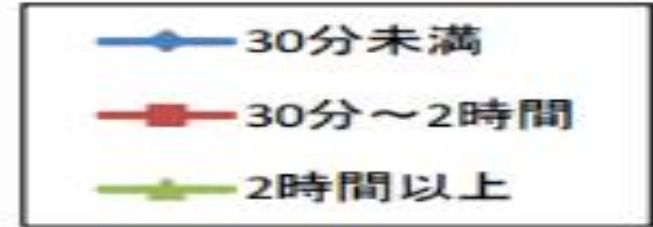


東北大学の研究、仙台市内の小中学生4万人以上を対象に調査(2015年)

<数学の平均点>



<平日の勉強時間>



平日の通信アプリの使用時間



鶴ヶ島市 「親子SNS活用のルールづくり」

鶴ヶ島市「親子SNS活用のルールづくり」リーフレット

小・中学生版

SNSによる こんなトラブル急増中！

【小学校6年生のトラブル例】

・SNSに悪口を書きこみ、相手を傷つけた結果、自分がいじめを受けるようになってしまった。

【中学1年生の例】

・少しだけ思いながらも動画やゲームに夢中になり、学習に身が入らない。

【中学校2年生のトラブル例】

・遊び感覚で自分のほだかの画像を友人に送ろうとしたところ、間違えて多数のクラスメイトに送ってしまい、インターネット上に広がってしまった。

こまった！
どうしよう？



ちょっと待った！

こんなことを起こさないために、
自分でルールを決めておくといいね！

1. マナーを守って使います

2. 個人情報のやりとりはしません

3. 他人を傷つける内容は送れません

4. ネットで知り合った人とは会いません

5. 使う時間を守ります



スマホ(SNS)使う時の
やくそく
つる5ん 5つの約束

鶴ヶ島市教育委員会は、将来スマートフォンを持った時、トラブルを起こさないために、その使い方を、自分自身で考え、賢く活用できる児童・生徒を育てます。保護者と学校も、買い「鶴っ子」をサポートします。

鶴ヶ島市教育委員会

親子で考えたSNS活用のルール

SNSを安全に利用するために、絶対に守りたい自分のルールを決めましょう。

また、理由も書きましょう。

今日の授業の感想を
書きましょう。

今日の課題

SNSを**安全**に利用するためのルールを考えよう。

まとめ

安全に利用するために、
自分で決めたルールを
絶対に守ろう。